

授業科目名	基礎運動学Ⅰ	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	木村 公亮、開発 基文	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>運動学は運動を科学的に分析した学問である。 作業療法士にとって解剖学・生理学と共に運動学は非常に重要な教科である。 身体運動の基礎を理解するため、運動力学とそれにかかわる構造・機能について学習する。 人間の「動き」がどのように成り立っているのかを理解する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>基本的なバイオメカニクスの理解に準じて、基本的な関節運動に伴う、各関節の形状、名称、筋活動やそれらがOT治療場面でどの様に使用されているかを理解する。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	オリエンテーション、運動学概論（運動の定義）（基礎運動学P1～P16）			〔開発〕	
第 2 回	運動に関する身体構造と機能①（基礎運動学 P1～P94）			〔開発〕	
第 3 回	運動に関する身体の構造と機能②（基礎運動学P95～P158）			〔開発〕	
第 4 回	生体力学の基礎①（基礎運動学P159～P179）			〔開発〕	
第 5 回	生体力学の基礎②（基礎運動学P180～P192）			〔開発〕	
第 6 回	運動の制御機構（基礎運動学P279～P298）			〔開発〕	
第 7 回	バランス制御（基礎運動学P299～P332）			〔開発〕	
第 8 回	運動と動作の分析（基礎運動学P333～P350）			〔開発〕	
第 9 回	運動学習（基礎運動学P455～P488）			〔開発〕	
第 10 回	肩関節の運動学			〔木村〕	
第 11 回	肩関節の運動学			〔木村〕	
第 12 回	肩関節の運動学			〔木村〕	
第 13 回	肩関節の運動学			〔木村〕	
第 14 回	肘の運動学			〔木村〕	
第 15 回	前腕の運動学			〔木村〕	
評価方法	課題（ポートフォリオ）・レポート・筆記試験				
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 基礎運動学 第7版（医歯薬出版） 筋骨格系のキネシオロジー（原著第3版）（医歯薬出版）</p>				
履修上の 留意点	作業療法士を目指す上で基本となる講義です。ここでの知識をしっかりと記憶に定着させることが重要になってきます。記憶する量も多いですが、理解できるように根気強く繰り返し復習することが必要となってきます。				
メッセージ	テストは行わず、ポートフォリオを使用して自己学習など課題により評価を行います。積極的に国家試験や実習でも重要な科目ですので、頑張りましょう。				